

合併10周年を迎えて

平成18年3月1日に新しい日高町が誕生し、早いもので10年が経過しました。この間、旧両町の歴史と文化を大切に残していくことを念頭に置き、その上で地域資源と特色を活かしたまちづくりを推進し、新町全体の活性化を目指してまいりました。

これまでを顧みますと、合併という大きな変化により様々な課題も浮かんで参りましたが、それらの解決を図るなかで、地域の現状を見つめ直すことができました。

より良い日高町を作るため、町民の方々からも多くの御意見をいただき、正に協働による取り組みにより道筋を付けていくことができたものと考えておりますし、今後におきましても、町民の皆様には積極的に町政に参画いただき、共に歩んでいきたいと思っております。

合併時には、日高町の将来像として「いきいきと働き、学び、安心笑顔で暮らせるまち」というキャッチフレーズを掲げました。

日高町におきましては、市町村合併10周年という節目を、まちづくりを進める上でのさらなる飛躍の年と位置づけ、町民の皆さまとともに合併時に掲げた将来像に近づけるよう、全力を注ぎたいと考えております。

今後とも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



日高町長 三輪 茂



【合併までの主な経緯】

平成16年

12月1日 日高町・門別町合併協議会 設立

平成17年

2月24日

～2月25日 日高町住民説明会 開催

2月24日

～3月2日 門別町住民説明会 開催

3月20日

日高町で合併に関する住民投票 実施

3月22日

合併協定調印式 開催

3月23日

両協議会で合併について議決

平成18年

2月28日

日高町・門別町合併協議会 解散

3月1日

新「日高町」誕生



日高の頭文字「ひ」をモチーフとし、緑と青色部分は日高町を表し、二つの町が手を取り合い、一つの活力ある町へ飛躍せんと突き進む様を表現しています。上部の赤の球はそんな環境のもといきいきと暮らす人々の笑顔や、輝く太陽を象徴しています。また、カラーとしては広大な土地や山脈・海、そして清らかな川・せせらぎをイメージする緑・青をメインとした構成です。



富川元町第2町内会で災害図上訓練(D I G)を実施 平賀自治会が消防庁舎を見学

2月7日、富川元町第2町内会(高橋議長)主催の地震・津波災害を想定した災害図上訓練(D I G)が佐留太生活館で行われ、会員54名が参加しました。参加者の皆さんは、日高西部消防組合の窪田警防係長から防災に対する意識や自助・共助の大切さを学び、大きな地図を使って危険箇所の情報を共有するなど、万が一の津波災害に備えて対策を検討しました。

2月18日には平賀自治会(赤井明会長)が消防署の新庁舎を見学しました。会員38名が参加し、日高西部消防組合の高元副士長から大雨等による水害を想定した防災講習を受けた後、災害時に一時避難場所となる庁舎屋上やその入口、避難者の滞在スペース等を確認しました。参加者の皆さんは、万が一の避難をイメージすると共に新庁舎の機能性の高さを実感しながら熱心に見学されていました。



富川元町第2町内会



平賀自治会



富川高校生が快挙!

富川高校商業同好会 2年生ながら全商1級3冠!

全国商業高等学校協会(全商)では様々な種類の検定試験があり、富川高校商業科に入学した生徒は全商1級3種目の合格(3冠)を取ることを一つの目標にしています。

今回、2年生ながら新井海渡君と松浦優衣さんがその栄誉を達成しました。

新井海渡君 ビジネス文書・電卓・簿記・商業経済
※2年生での4冠は富高生初の快挙
松浦優衣さん ビジネス文書・電卓・情報処理
※普通科生の3冠も富高生初の快挙



第25回北日高岳大回転スキー選手権大会 第11回北日高岳シニア大回転スキー選手権大会

2月13日、日高国際スキー場において「第25回北日高岳大回転スキー選手権大会」及び「第11回北日高岳シニア大回転スキー選手権大会」が開催されました。

当日は悪天候にも関わらず、前回大会と同様、総勢98名が参加し大回転スキー大会は未就学児から一般までの男女別の12クラス、シニア大回転スキー大会は40歳以上の男女別の2クラスに分かれて競技が行なわれました。

選手は、遠くは福岡県や広尾町からも競技に参加して腕前を競い合い素晴らしい大会となりました。